

第2回 (仮称) 市民交流センター整備検討委員会

説明資料

令和4年11月16日

諫早市経済交流部
諫早市教育委員会

目 次

1. 第1回整備検討委員会での意見について
2. 先例地の視察研修について（報告）
3. 施設整備の前提条件の整理について（案）
4. 今後のスケジュールについて（案）
5. （仮称）市民交流センター整備に係る基本構想について（案）

1. 第1回整備検討員会での意見について

○芝生広場について

- ・できるだけ芝生広場を残すために、建物位置の変更や建築面積の縮小などの工夫が必要
- ・施設の内と外が一体的に利用できるような施設の整備

○駐車場について

- ・夜間でも無料で利用可能な駐車場の整備
- ・浸水想定区域のため、地下ではなく地上での整備を検討

○(仮称)市民交流センターの機能の想定について

- ・諸室の設備の充実
- ・ホールを整備しても現在の公民館の講堂のような空間が必要
- ・ユニバーサルデザインに配慮

○その他

- ・芝生広場を確保するために施設屋上の緑化を検討

2. 先例地の視察研修について（報告）

○ 施設名：なみきスクエア（福岡市東区香椎）

- ・ 施設概要：市民センター、図書館、音楽・演劇練習場、証明サービスコーナーの機能を持つ複合施設
- ・ 主な施設：

なみきホール（最大800名）	1室
多目的室（会議や楽屋で使用）	3室
実習室（絵画、木工及び調理実習）	2室
和室、会議室	5室
視聴覚室（75名）	1室
図書館	1室
千早音楽・演劇練習場	6室
（大（290名）1室、中（55名）1室、小4）	
- ・ 施設管理：指定管理者管理（なみきスクエアみらいネットワーク）
（株）JTB及び九州地区舞台芸術運営協同組合で構成）

2. 先例地の視察研修について（報告）

○ 施設名：なみきスクエア （施設の特徴）

- ・ **1Fフロア**：近接する千早駅と並木公園を結ぶ通路ともなっている。
- ・ **冷暖房施設**：館内に張り巡らしている配管網に冬はお湯を、夏は水を流して、冷暖房設備としている。
- ・ **なみきホール**：芸術性を考慮し、座席や壁などホール内が黒で統一されており、落ち着きがあった。
座席数は、一部の2階張り出し部を除くと約600席あり、殆どの利用者が、600席でイベントをしている。
- ・ **舞台機構**：なみきホールの基本はシューボックス形式（音楽会形式）プロセニウム形式（講演会形式）も利用頻度が高い。

2. 先例地の視察研修について（報告）

- ・ **多目的室兼楽屋**：ホール裏側入り口から楽屋としての利用と、通路側入口から会議室としての利用を兼ねている。
- ・ **会議室**：ガラス張りで、ロビーから室内の活動の様子がよく見える開放的な作りで、必要に応じてロールスクリーンで見えない状態も可能。
- ・ **大練習場**：平床（フローリング床）で、広さは、なみきホールの舞台サイズに合わせてあり、周囲の壁も黒で統一している。
- ・ **中・小練習場**：新型コロナウイルス感染症まん延前は、稼働率が非常に高かった。

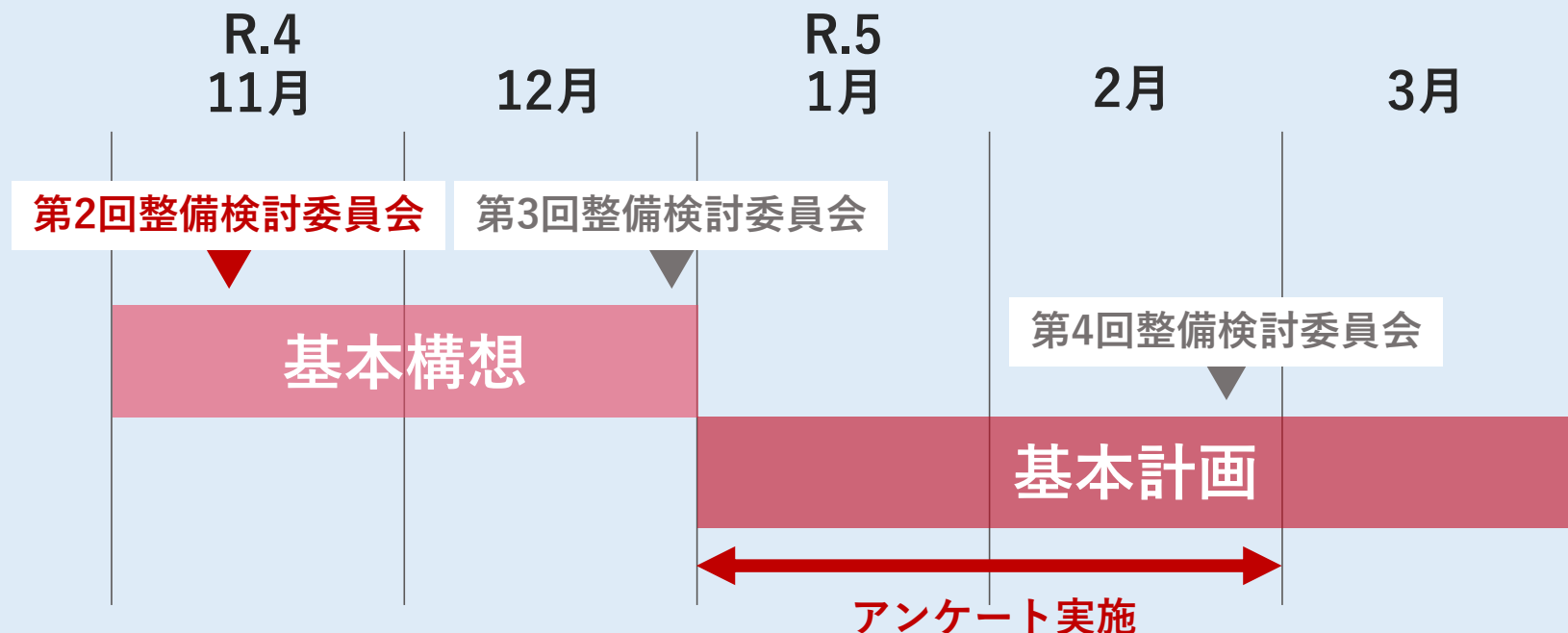
3. 施設整備の前提条件の整理について（案）

今までの検討を踏まえて、前提条件の整理を行います。

- ① 中規模ホールの機能は、（仮称）文芸・音楽ホール検討時の仕様を前提として整備を検討する
- ② 市民センターの機能は、老朽化した既存中央公民館の建替として整備を検討する
- ③ 市民の交通アクセスを考慮して建設位置を検討する
- ④ 庁舎前駐車場を含めたエリア一体での施設整備を検討する
- ⑤ 庁舎前駐車場の駐車台数は、既存駐車台数に加えて、（仮称）市民交流センターの駐車台数も想定し検討する

4. 今後のスケジュールについて（案）

基本構想を年内12月末までに作成し、それを踏まえて基本計画を来年3月末までにまとめます。



※整備検討委員会は前回と今回を含めて計4回の実施を想定

5.（仮称）市民交流センターに係る基本構想について（案）

基本構想では以下の3点を中心に検討を進めます。

① 基本方針及び施設コンセプトの作成について

- ・施設整備の基本方針を検討し、施設整備のコンセプトをまとめます。

② 必要機能及び必要規模の検討について

- ・整備する施設の必要機能及び規模について案をまとめます。

③ 施設間の機能の連携について

- ・整備する施設間だけでなく、屋外施設との連携等についても案をまとめます。

① 基本方針及び施設コンセプトの作成について

基本方針及びコンセプトの検討の進め方

・ 各施設毎の検討

中規模ホールと市民センターの各施設をどのように整備するのか、それぞれの施設について、必要な機能及び施設規模について検討します。



・ 合築・立地のメリットの検討

中規模ホールと市民センターを合築することによるメリット、交通の利便性の良い中心市街地に整備することによるメリットについて検討します。



・ 各施設間を連携させる機能の検討

合築すること、中心市街地に整備することのメリットを高める機能は何か、それぞれの施設を使用するにあたり共通であると有効な機能は何か、について検討します。

② 必要機能及び必要規模の検討について

② 必要機能及び必要規模の検討について

ア.施設の機能と規模について（案）

イ.中規模ホールの機能について（案）

ウ.市民センター（中央公民館）の機能について（案）

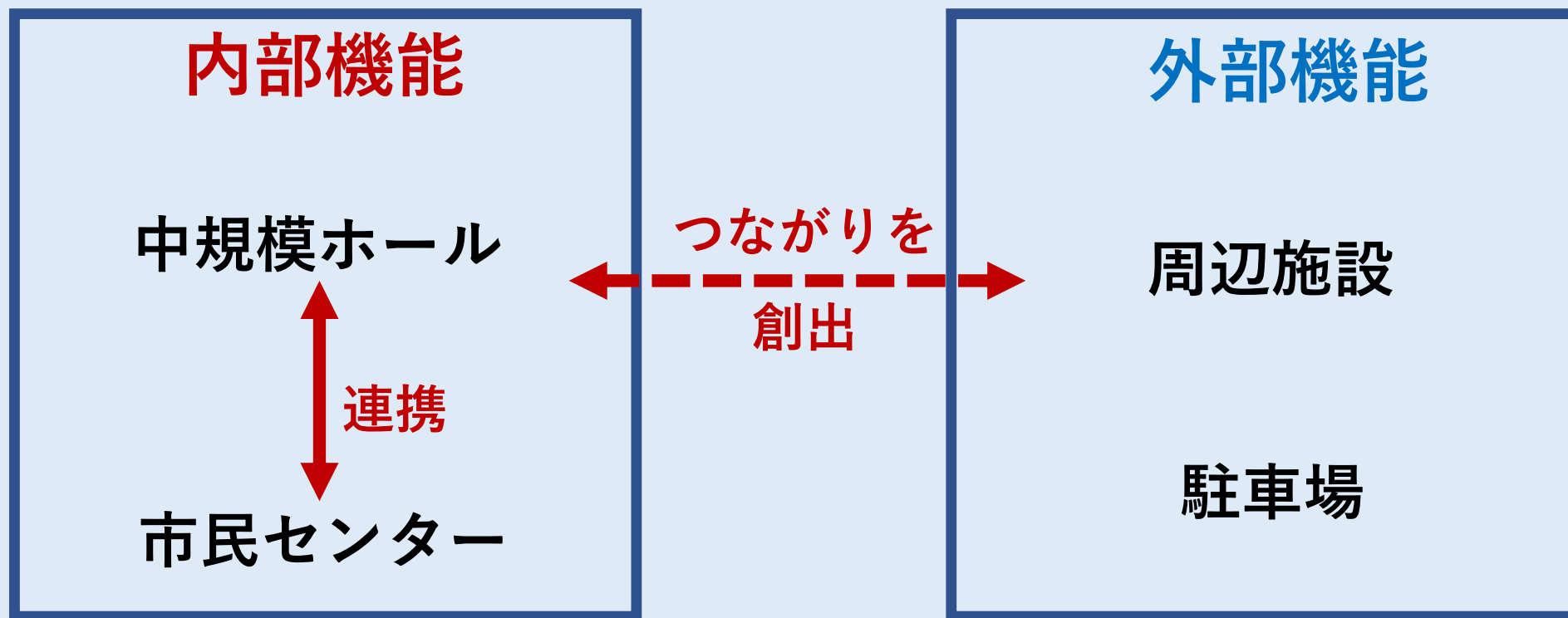
エ.周辺施設について（案）

オ.駐車場について（案）

② 必要機能及び必要規模の検討について

ア.施設の機能と規模について（案）

内部と外部それぞれで必要機能・規模について検討を行います。



② 必要機能及び必要規模の検討について

イ.中規模ホールの機能について（案）

中規模ホールの仕様・設備は（仮称）文芸・音楽ホール検討時と同等のものを前提に検討します。

（仮称）文芸・音楽ホール検討時の仕様・設備

- ・ 客席約500席
- ・ 親子室の設置などバリアフリーに配慮
- ・ 舞台は、奥行き、舞台袖を十分に確保
- ・ 音響に配慮し、舞台に反射板を設置

中規模ホールの想定

名称	定員	防音	概要
中規模ホール	最大500人	○	
楽屋 1	10人		更衣室を併設 一部可動間仕切り検討
楽屋 2	10人		
楽屋 3	10人		
リハーサル室	40人	○	

② 必要機能及び必要規模の検討について

ウ.市民センター（中央公民館）の機能について（案）

- ・利用者からの既存施設の面積・機能が不足しているとの意見より、利便性の向上に配慮し、規模・機能の拡張を検討します。
- ・公民館機能に加えて生涯学習機能の新設を検討します。
- ・中央公民館と利用者にヒアリングを実施し、設備や規模を検討します。

市民センター（中央公民館）の概要

名称	定員		面積	概要
講堂	固定席	112席	320m ²	舞台設備 音響、照明設備
	可能席	210席		
講座室	1	48人	66m ²	
	2	48人	66m ²	音出し可
	3	18人	28m ²	
和室	30人		32m ²	
料理講座室	24人		70m ²	水道設備、ガス調理器具
会議室	1	36人	39m ²	可動間仕切り
	2	24人	28m ²	
展示ホール	-		104m ²	ロビー機能

② 必要機能及び必要規模の検討について

エ.周辺施設について（案）

- ・ 整備する施設間だけでなく、商店街などの周辺施設との連携などについても検討します。
- ・ 従来の芝生広場の機能は、施設との関係性やイベント時の利用を想定し検討します。

② 必要機能及び必要規模の検討について

オ.駐車場について（案）

- ・ 庁舎前駐車場の駐車台数は、既存駐車台数に加え、
（仮称）市民交流センター利用者の駐車台数を考慮し
設置台数を検討します。

③ 施設間の機能の連携について

- ・（仮称）市民交流センター施設のみならず、広場としての機能やまちとつながりを持つ施設を検討します。
- ・ 各々の施設を目的に訪れた利用者が、相互に文化・芸術・生涯学習活動に関心を持ちやすくなるよう、施設に相関関係を構築します。
- ・ 基本方針及びコンセプト、必要機能及び必要規模を精査した上で機能相関図を作成します。